

岡田章雄 あきお 歴史學者。明治四十一年十月（二十）群馬縣前橋生れ、昭和五十七年二月十八日歿（九八一三）。昭和七年東京帝國大學文學部國史學科卒。翌年同大史料編纂所入所。二十二年東大教授、のち青山學院大學教授。日本歴史地理學會會長も務めた。白蠟交渉史專攻。

著書に『南蠻帖（鎖國前史の諸問題）』（昭和十八年六月十八日黄河書院）、『二浦校針』（昭和十九年九月二十日創元社）、『あぶくらの日本史』（昭和二十二年一月二十日東京堂）、『繪踏の心理』（キリスタン文化研究會編、昭和二十四年八月五日白鷺社）『キリスト教傳來四百年記念』（『乗物の歴史』（昭和二十五年五月二十日中央公論社）『ことばの文庫』（『明治の東京—外国人の見聞記』（昭和四十年二月十五日桃源社）『桃源選書』（『南蛮史談』（昭和四十一年四月二十五日人物往來社）、『外国人の見た茶の湯』（昭和四十八年七月十九日淡交社）『淡交選書』（『歴史家夜話』全二冊（上、下・昭和五十五年十一月一日山川出版社）等。

